

ぬひとり

東京女子高等師範
學校附屬幼稚園 新庄よし子

ぬひとりのきれが漸く見あたりましたからみな様にお知らせいたしませう。

目の荒いきれ地に毛糸でぬひとりにすることをすつと前からいたしては居りましたが、みんな特殊なきれで御紹介することも出来ませんでした。その後して見たいけれ共きれがないので、といふ事を度々ききましたのでごうにかしてよいきれを探しあてたいと思つてゐました處ズック（倚子の底を張るきれ）はごうかといふので、試して見ましたところ大層結果がよろしいので御紹介いたさうと存じます。

このぬひとりは太い糸で織つたごく目の荒い生

地（主に麻の類）に幼児が自分で描いた繪を普通の毛糸でぬひとりにするのでございます。

（一）方法

まづ寫眞の第一についてお話し致します。是はしきものにしてゐますが、かなり大きなきれでたて一米八センチ、よこ一米四十九センチございしますが是を幼児の机の上にひろげて置き白墨で好きな様に繪を描かせます。一人づつ向きも勝手に、是がぬひとりの下繪になるわけでこの時チヤコを使つて見ましたが、白墨は手近にもあり、また是の方がたやすく繪をかく氣にもなれませう、すつと白墨を使つて居ります。大きな繪や少しこ

み入つたのはぬつてゐる途中に消えさうになる事もあるので、いつも下繪がはつきりしてゐるやうにもう一度上をかゝせたり又先生がかいておく事もいたします。

下繪が出来ましたらその繪によつて好みの色の毛糸をとほした針を持たせます。大體下繪によつて色の決つて居るものもあります。例へば葉は緑チウリップの花は赤か黄かといふやうに。二つ三つ針の運び方を見せますと大低は出来ます。針の目は好きずきですが糸と糸との間がなるべくあかないやうに縫つた方が一つの繪がはつきり致します。幼年組でしたら先生がそばについて居て毛糸が短くなつた時、針から糸がぬけてしまつた時、こんがらかつた時、他の色の糸にうつる時、下繪が消えさうになつた時、糸がつれた時等は手傳はねばならないでせう。年長組は是等が一人で出来ませう。

昔して居りましたのはほんの指先ばかり動かすぬひとりでしたが、是は指先ばかりでは出来ませ

ん。ずつと肩からの大きい動きで運ばれて行くものですから、けれどもその運びは至つて遅々としたものですから仕上げを急ぎませんやうに、一つの繪を一人の子が一週間かゝる事もあります。十日かゝつても出来ない事もあります。幼兒の氣の向いた時、或は特に時間をきめてさせるにしても氣長に見てゐます。ですから一枚のテール掛なり、敷物なりが一年かゝることも二年かゝる事もございます。

この一枚のきれを中心にしてあつちからもこつちからも子供の手で引つ張り合つてぬひとりした結果は、繪の向きがまち／＼であり、大きさも不同、色もとり／＼である所に出来上つたものが誠におもしろみもあり幼兒の製作としてのふさはしさもあふれてゐるやうでございます。

在團中の幼兒めい／＼の製作、例へば自由畫、ぬり繪、切紙、むしり紙、厚紙細工等殆んどまゝとめて持ち歸らせてゐますので、いつか描いた繪がたま／＼残つて居るといふのを見る外は何もござい

ません。この残して行つた一枚の敷物を見る度に在園中のその子のぬひとりしてゐたさま、それにつゞいてその子の幼稚園生活が思ひ浮ばれてなつかしさを覚えることがございます。

(二) 材料

目のあらい生地

毛糸 (太)

毛糸針 (なるべくメドの大きい)

白墨

澁

きれ地

目の荒いきれ地と申してもいろいろ種類がございますが最も是に理想的なのはマタイ(麻袋)といふ満洲地方で産物を地方に送る時に用ふる袋のきれでございます。寫眞第二の地がマタイでございます。是はごく太い麻糸で織つたものですから織目が荒くドツシリした感じが致します。併し是はこちらでは容易に手に入りませんで、つてを求めて漸く手に入れるといふ有様ですがやがて是も

ぬひとり材料としてまとめて取寄せることにもなりません。この代用品とでも申しませうか、ズツク(倚子の底張りをするきれ)を求めてして見ました。是ならばどの地方でも倚子をつくる店はありませうからこんな處で分けて貰ふことが出来ませう。手に入り易く且つ價もお安うございます。ぬだんは一ヤール(三尺五寸)巾で二十八錢程でございますから一寸した壁掛のやうなものならきれだけが十五錢位で出来ます。

澁をぬること

右のきれをそのまますぐ用ひても勿論よろしいのですが、澁を塗つてみました。マタイにしてもズツクにしても元々地が麻ですから、澁を塗りますと一體に地がビーンと張つてきて、皺がなくなり従つて針を通すのにきれのたるむといふ事がなく大變し易くなります。澁は、薬品店か塗料店で買ひまして(サイダー瓶に十錢位)右のきれに一面に塗ります。ネバ々しませんが幼児に塗らせ

まして一寸陽にあてますとすぐ乾きます。どちら
も地がうすい茶色ですから、澁を塗りますといく
らか濃くなつてよい色にもなり、又きれの持ち工
合が宜しくなります。一切刺繡用の枠などは用ひ
ては居りません。

毛糸

毛糸は別にとりたて、申す程の事でもなく、ごち
らでもすぐ手に入りませう。普通「太」を使つて居
ります。是はなるべく色の種類の澤山あるのが宜
しく、色によりませうとほんの僅かしか要りません
から一かせ(二オンス)づゝ買つて他の組と分けて
使ひましたり又は使ひ残りを利用いたしますほん
の二三尺づゝでもやくに立つ事がございます。兎
に角色のとり合せを面白いやうにするには種々の
色の毛糸を集めておかねばなりません。出来上つ
たものを藏つておくわけでもございせんから、
虫のつくこともございせん。何か毛糸に代るよ

いものを探しても見ましたが高價であつたり、針
のメドが通りにくかつたり、色がわるかつたりし
ましてどの點を考へても幼兒のぬひとりには毛糸
にまさるものはないやうでございませう。

針

毛糸針の中でも太くメドの大きいのを選びます
始めは先生が糸を通しますが慣れるに従つて一人
でいたしますから通しいやうに。毛糸針の先は
丸くなつてゐますからあぶない事もございせん
右は大體ぬひとりの方法と材料について一般に
申しましたのですが、色紙を材料に入れて見まし
た。(寫眞第三)前のを純粹のぬひとりとするなら
是はその應用とでも申しませうか。むしり紙(色
紙にて自由に或る形を指先にてむしりたるもの)
切紙(色紙を鋏にて切りたるもの)にて出来たもの
をズツクなりマタイなりにのりではりつけます。
是が少し乾いて紙がピッタリとついた後にそのふ

ちを前のぬひとりの方法で致します。色紙の色と同色の毛糸を使ひます。是はぬふべき下繪がいつ迄もはつきりして居りますから自分で書いた下繪をぬふよりは容易に出来るかとも思ひますが、純粹の糸の味はうすいやうでございませう。この時の紙は普通のもさう紙の色紙が宜しく上等のいよまさ紙は針が通りにくうございませう。寫眞第三の繪は椿、チウリップ、あやめ等のむしり紙を幼兒にして貰つていたので幼兒自身がいたした自由むしり紙か切紙でしたらもつとおもしろ味が出やうかと存じます。

寫眞の第二はマタイのきれで、手紙やらハガキやらその他書付など入れる袋をとりつけたもの。整理用、壁掛用兼ねてゐるものでございませう。マタイを適宜の大きさに切り別に大小のきれを切つてこれにぬひとりをして、前のきれに、ぬひつけて袋としたものでございませう。エプロンのポツケ

ット式にしたので保育室なり茶の間なりにおいて重寶に使はれませう。

寫眞の第一は、敷物に使つて居ります。毛布などの毛のすり切れたのをきれいにいたして、ぬひますとおまゝ事のしきものによろしうございませう。右はいづれも協同製作を主としたものですが年長組になれば各自一人づゝの物も出来ませう。

花瓶しき

ふくろ。大小いろ／＼、繪本をいれる鞆様のもの、お辨當いれ。

壁掛

お人形のひざかけ 等。

別に紙を材料にしてもみました。地は茶ボールとかダンボール（ボール紙の裏にダン／＼のつゐるもの）とかで最も宜しく針も通し易く確りして居ります。紙テープでぬひとる事も出来ませうがやはり毛糸を用ふる方が宜しいやうでございませう。